



稽古照今

# 吉森まこと

～議員報告レポート④～

発行：志真会 吉森真人(無所属)

〒936-0023 滑川市柳原68-10

TEL:090-1543-9903

## 挨拶

令和7年もはや神無月となり、朝晩の寒暖差が激しく体調を崩しやすくなっております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

振り返りますと、この4年間は本当に多くの学びと出会いがありました。市議会議員として何もわからなかったころから、市民の皆さまにいただいた温かい励ましとご意見が、私の活動を支えてくださいましたことに、心から感謝申し上げます。

この任期中、私は、市民の皆様のご生活に直結する課題解決に尽力いたしました。子どもたちの教育環境をより良くするため、ICTを活用した学習支援や学校環境の充実を進めてきました。農業分野では、生産者の皆さまの声を伺いながら担い手の確保や持続可能な仕組みづくりに取り組み、地域コミュニティでは、防災士として地域の皆さまと一緒に防災訓練や活動に参加し、「つながりの力」を実感してきました。

また、市民の皆さまにもっと開かれた議会を目指し、議会運営の透明性向上や効率化といった「議会改革」にも取り組みました。この活動の根幹には、松下政経塾一期生の林英臣先生の政経塾で研鑽を積んだ「政治家としての原点と志」があり、その学びを活かし、市民の声が真に活かされる議会のあり方を追求しました。市民の声がより届きやすくなる環境づくりを進めてきたことも、この任期での成果の一つだと考えています。

歩んできた日々の一つひとつが、滑川の未来をつくる大切な財産だと思っております。任期も残りわずかとなりましたが、最後まで市民の声を大切にし、皆さまと一緒に「誇れるまち滑川」をつくってまいります。今後とも、変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

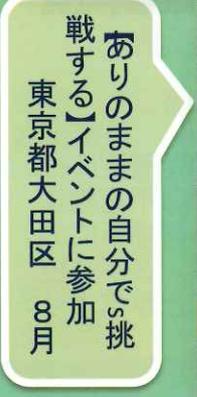
右のQRコードは滑川市議会のホームページです。議会の日程や質問事項など載っています。



早月中学校の先生とともに  
ライフスキルを身に  
着ける勉強会に参加



北加積地区の防災訓練の様子。  
防災士として参加  
R6年11月



ありのままの自分で挑  
戦するイベントに参加  
東京都大田区 8月



林英臣政経塾  
広島市にて行われた  
全国講座  
1月



## 令和6年12月度議会での一般質問

令和6年12月議会の様子(滑川市議会YouTube)



### ①防災について ②HPVワクチン接種について

**吉森** 災害時の移動は原則徒歩となっているが、周知徹底できているのか。また、市として原則徒歩に対してどう考えているのか。

**石川総務部長**

能登半島地震の際は、想定外の避難行動による混乱が生じ、避難車両による渋滞が頻発するなど課題が生じた。市として県の議論の動向を見極めながら二次災害が発生しないよう、原則徒歩の周知に努めたい。

**吉森** 環境や時代の流れ、プライバシーの観点から車中泊をする方が多いと想像できるが、市として車中泊避難をどう想定しているのか。また、その対策は考えているのか。

**石川総務部長**

能登半島地震の際は、ペットの世話やプライバシーの確保などの事情から車中泊避難を選択された方が一定数存在した。今後プライベート空間を求められる避難者も多くなってくると想定はしているが、それに伴い車中泊避難者数の把握や物資の提供の課題もあると認識している。市だけではなく市社会福祉協議会や民間の支援団体などとの連携による支援も含めて対策に努めたい。

**吉森** 滑川市に到達する津波は、線路はもちろん市道滑川富山線(ふれあい通り)を超えないと想定されているが、今回の能登半島地震の結果を踏まえ修正点はないのか。

**石川総務部長**

現在想定されている津波は、富山県が平成29年2月に公表した調査結果に基づいて想定されている。現在、県の防災会議地震対策部会等において地震の被害想定調査及び津波シミュレーション調査を進めていくとされている。調査完了までに2年ほどかかるとされ、令和7年度中には中間報告がなされる。この報告を踏まえて見直しも含め検討したい。

**吉森** 前定例会でも伺ったが、HPVワクチンについて、男性に対しての有効性の周知と、男性の定期接種もしくは接種に対しての助成を行うべきと考えるがいかがか。

**石川健康福祉部長**

HPVの主な感染経路が性的接触であることを踏まえ、ワクチン接種により男性はもとより女性のがんなどの疾病の罹患予防が期待できること、さらには女性の接種にも好影響を及ぼす期待ができることなどを総合的に勘案し、周知及び導入について前向きに検討したい。

## 令和7年3月度議会での一般質問

令和7年3月議会の様子(滑川市議会YouTube)



### ①滑川イノベーション推進事業費について ②DX推進事業費について ③不登校児童・生徒について ④HPVワクチンの男性任意予防接種について

**吉森** 女性デジタル人材育成事業には令和6年度どのような方が参加されたのか。

**石川総務部長**

30名の応募があり、学習、就労意欲の高い方、現在常勤で就労されていない方を優先して8名を選考した。

**吉森** 実際に行った事業内容を問う。

**石川総務部長**

ビジネスITの基礎、基幹システムSAPの基礎、DXリテラシー研修を実施したほか、マインドセットの集合研修、修了認定試験などを実施した。さらにキャリアヒアリングを実施した上で企業とのマッチング支援を現在実施しているところである。

**吉森** 今回卒業された受講生には今後どのようにサポートしていくのか。

**石川総務部長**

就労支援のサポートのほか、実務経験的なものが不足している部分をいかにサポートできるのか様子を見ていきたい。

**吉森** 不登校児童・生徒への教育委員会が考える対応策及び改善策は。

**上田教育長**

大きく3つの柱がある。①休み始めた頃の初期対応。2・3日欠席が続いたところで働きかけを確実に行う。多くの教員で見守る体制をつくり、早期発見、早期対応を進めて不登校予防を進めたい。②不登校状態となつてからの効果的な働きかけ。家庭訪問やリモート授業を実施。また、本人が希望する居場所について保護者と共に検討していきたい。特に保護者への支援は重要であり相談体制も整えている。③不登校にならないための未然防止。学校に来ることを楽しいと感じる魅力的な学校づくりを進めることが何より大切であると考えている。

**吉森** 誰一人取り残されない情報伝達サービス事業の対象者を問う。

**石川総務部長**

高齢者を中心に一定程度スマホ等のデジタル機器を持たない、持っても使えない方がいる。緊急情報や町内会における情報を円滑に受け取ることができない状況である方を対象に事業を実施し、誰もがデジタル技術の恩恵を受け誰一人取り残されることがなく社会に参画可能な環境整備を目指す。令和7年度は、20名程度を予定としており、町内会等と協議しながら進めていく。

## 令和7年6月度議会での一般質問

令和7年6月議会の様子(滑川市議会YouTube)



- ①企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)について      ②なめりかわ未来学校について  
③埼玉県比企郡滑川町との交流について

**吉森** 企業版ふるさと納税のこれまでの寄附実績を問う。また、近隣市町村等と比較してどうなのか。石川総務部長

寄附実績は、令和4年度から令和6年度までの3か年で13件、1,580万円。他市町村との比較には令和6年度の実績が出ていないので把握できない部分もあるが、なかなか滑川市への寄附が伸びていないことも事実。新たな手立て等も打ちながら実施していかなければならない。

**吉森** 本社がある自治体に対して寄附をしてもこの税制は適用されない。市内のそのような企業が滑川市以外の他市町村にどのくらい寄附されているか把握しているのか。

**石川総務部長**

申し訳ないが、そのような事を統計的に調べてはいない。

**吉森** なめりかわ未来学校を創設した目的を改めて問う。

**上田教育長**

このまちの未来を考えるという活動をとおして、社会の課題を見つけ、世代を超えた集団の中で共に対話し、自分たちの結論を導くという経験を提供する事を目的としている。北欧デンマーク流の教育手法を取り入れた背景としては、民主主義社会に参画できる自立した市民を育てることを目的とし、知識習得に重点を置いた学校教育と探求力の鍛錬のための社会教育を組み合わせている。特に学習者中心で対話や体験をとおして、主体的な学びを促すところが特徴であり、現在小学校にも求められている主権者教育や、本市でも大切にしているふるさと教育など、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成について重なる部分が多くある。

**吉森** 事業内容について昨年度との違いや特徴などあるのか。

**上田教育長**

サマースクールは、これまで連続4日間という日程だったが、参加しにくいという意見から前半2日間、後半2日間と間隔をあけて設定している。

**吉森** 滑川町との連携に向けて具体的な検討や準備を進めていくのか。

**水野市長**

相手方の意向を確認する必要もある。議員視察をきっかけに私が行くことも考えなければならない。双方の合意に基づいた関係を築いていくことが重要であり、今後の交流や連携を前向きに検討していきたい。

## 令和7年9月度議会での代表質問

令和7年9月議会のYouTubeまだ公開されていません

- ①改正鳥獣保護管理法について      ②公共交通について      ③HPVワクチン接種について  
④少子化問題について      ⑤市政運営について

**吉森** 改正鳥獣保護管理法が令和7年9月1日に施行されたが、これまでとの違いを問う。

**長崎産業民生部**

これまで、市街地で銃を使用する熊の捕獲は原則禁止されており、立ち会う警官の指示をうけるなどの必要があった。9月からは熊やイノシシなどが人の生活圏に出没したときに、危険を防止するため4つの条件、場所、緊急性、方法、安全性の確保を満たせば、市町村の判断で発砲できるようになった。

**吉森** ここ数年の富山地方鉄道株式会社単独及び連結の経常利益及び当期純利益を問う。

**水野市長**

令和6年度単独の経常損失は4億288万円、当期純利益は、1億5,742万5千円。令和6年度連結の経常損失は、1千753万円。当期純利益は、12億2,660万8千円であり、どちらもここ3年間、経常利益は損失、赤字となっているが、当期純利益は3年連続黒字となっている。

**吉森** この数字を見て市としてどう考えているのか。

**水野市長**

不採算部門である鉄道事業はもちろんわかるが、会社全体として捉えてもらいたいという思いはある。

**吉森** 本年度から予算化された男性のHPVワクチン任意予防接種費用の助成で、これまでに接種券及び実際に接種された方の人数を問う。

**石川健康福祉部長**

9月4日現在、16件の申請者全員に助成券を発行したところ。7月までで、3名が延べ4回の接種を行っている。

**吉森** 児童・生徒数の減少により滑川市小中学校PTA連合会の運営費も圧迫している。他市町村は、自治体からの補助があるが滑川市はない。補助の検討はできないか。

**高倉教育委員会事務局長**

令和6年度には、補助金の要望をいただいたが、市として新たな補助金の交付については難しいと回答をした。その他の要望もあり優先度や必要性を踏まえ、できる範囲で検討、対応を行ってきたところ。

**吉森** 小中学校の再編について、どう考えているのか。

**上田教育長**

近年、全国の各自治体では、少子化等の影響により統廃合が進められているが、本市においては、統廃合に向けた協議は行っていない。

## 総務文教消防委員会にて視察に行ってきました（R7年5月）

### 埼玉県さいたま市

- 1, 体育館の空調設備について
- 2, 太陽光発電設備について

体育館空調設備は、

- ・今年度中に全中学校で完了予定。（58校）
- ・今後、7年かけて小学校全107校へ導入予定
- ・災害時避難所対応を最優先とし、停電対応のガス式自立型を設置。
- ・コスト効率化のため大規模断熱は避け遮熱塗装で対応。それでも効果は十分である。

太陽光設備は、

全161校の設置して10年超ですが、不具合はその都度対応し、現在も全校で稼働中です。

本市は、本年度中学校2校の体育館断熱調査を行う予算を付けたが、それより空調設備整備臨時特例交付金の取得を優先し、早期の空調設置を急ぐべき。断熱は遮熱塗装で対応可能。また、太陽光発電設備において本市は故障しているのが半数ある。さいたま市のように随時対応し、稼働を維持する体制を市は見習うべきである。

### 埼玉県比企郡滑川町

#### 子育て支援施策について

- ・滑川町は、東武東上線沿いの2駅を中心とした区画整備により著しく発展しました。
- ・昭和60年の人口10,406人から、令和7年5月には19,732人と約倍増しています。
- ・子育て支援に注力しており、高校生までの医療費無料化に加え、給食費の無償化を小中学校だけでなく、公立・私立の幼稚園・保育園（0～2歳児除く）まで拡大しています。町外の園や学校へ通う町内在住の子どもたちへも、給食費相当額の補助金を交付する手厚い支援を実施しています。

滑川町のような手厚い給食費無償化を本市で行うには国・県からの補助が不可欠。子育て支援の充実と共に、同じ漢字を持つ市町として災害協定や相互交流を促進するため、トップ会談を早急に実現すべきである。ちなみに、本年11月には、滑川町議会議員が本市を視察されるので、そこで交流を深めてほしい。

## その他の視察や勉強会、個人的な活動内容等

- ・昨年1月から松下政経塾1期生である、林英臣先生の政経塾に参加しております。もうすぐ2年が経過しますが、この間に多くの学びを得ることができたと同時に私自身が政治家としてこの滑川で何をすべきかという事が見えました。全国各地に政治家の仲間が出来た事も大きな財産です。ここでの学びも生かして、これからも政治家として邁進していきます。
- ・8月に「ありのままの自分で挑戦する」というイベントに参加するため、下町ロケットでも有名な東京都大田区の町工場に行ってきました。そこで出会ったのが静岡県で大規模農業を営んでいる(株)ソイルパッション代表の深川知久さんですが、なんと滑川市出身でありました。この出会いを大切に農業の発展の勉強をしていきます。
- ・マラソンも継続していて、一緒に走ってくれる仲間も増えました。5月の黒部名水マラソンでは、初めて4時間を切る3時間57分で完走できました。健康と体力づくりのために続けていきます。